

# 幌尻岳登山者事前調書

(とよぬか山荘に前泊しなかった方は、とよぬか山荘の受付で必ず提出してください。)

## 1. 下山予定日

\_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

## 2. 名 前 (2人以上の場合は代表者)

\_\_\_\_\_

## 3. 遭難時緊急連絡(家族又は関係者)先

氏 名 \_\_\_\_\_

連絡先 \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ )

## 4. 車両ナンバー

\_\_\_\_\_

- ・ 一般の携帯電話は通じませんので、いつでも助け合えるよう集団での登山を心がけましょう。
- ・ 雨が降ると山中の沢は急激に水位が上がります。無理に渡らず引き返しましょう。(ロープを使つての事故も起きています。)

(当調書は遭難事故がなかった場合、細断の上破棄します。)

# 登山者の皆様へ

近年、幌尻岳へ額平川ルートを利用しての登山中において、残念ながら死亡を含む事故が頻発しており、その大半は額平川での渡渉中に発生しております。

ご承知のように、このルートについては渡渉が含まれる特異なものであり、日本百名山のなかでも難易度の高いルートとして認識されております。

天候が安定し、水位の少ない場合には極端に危険な箇所はないと考えますが、技術・体力には個々に差異があるため、絶対的な安全を保証するものではなく、また、額平川は雨量により日々水位等が変化するため、一般的な登山道とは異なり、渡渉箇所を指示する看板等は設置出来ず、ケルン・ピンクテープ等による目印もあくまで補助的な物であり、登山者自らが状況を判断して渡渉を行う事となります。

さらに大雨等による増水時には危険性は一層高まり、重大事故につながるおそれが強まることとなりますが、とよぬか山荘から山頂に至るまでのルート中に確実に外部との通信が可能な地点は幌尻山荘及び第2ゲートのみであり、万一重大事故発生の際には、その状況により救助要請等の連絡が大幅に遅れる可能性は少なくはありません。特に単独登山の方が行動不能になった場合は、他の登山者に発見されなければ、外部へ通報することもままならない厳しい状況下にあることを十分に理解してください。

このようなことから、額平川から単独での登頂を目指す方で、ご自身の技術や体力に不安がある場合には、ツアー型の登山への参加や有資格の登山ガイドの同行等を検討するほか、最低限でも 登山前シャトルバス車内や下山前の幌尻山荘内等で他の登山者に対して同行を求めるなど、極力単独行動を防ぎ、不測の事態に際し対応が可能な体制で行動されることと**GPSの携帯**を強く推奨いたします。